

サクラマス海面養殖始まる

スモルト本格生産前に試験

延岡

研究を開始。これまでの研究成果を基盤に、内田研究室の学生で大学院生の上野代表が今年4月にスモルトを設立した。

後、土々呂港近くのいけすに移した。今月末には北浦で約2000匹の海面養殖を始める。海水が適温で推移する春ごろまで育て、1ヶ月前まで成長するよう養殖する。

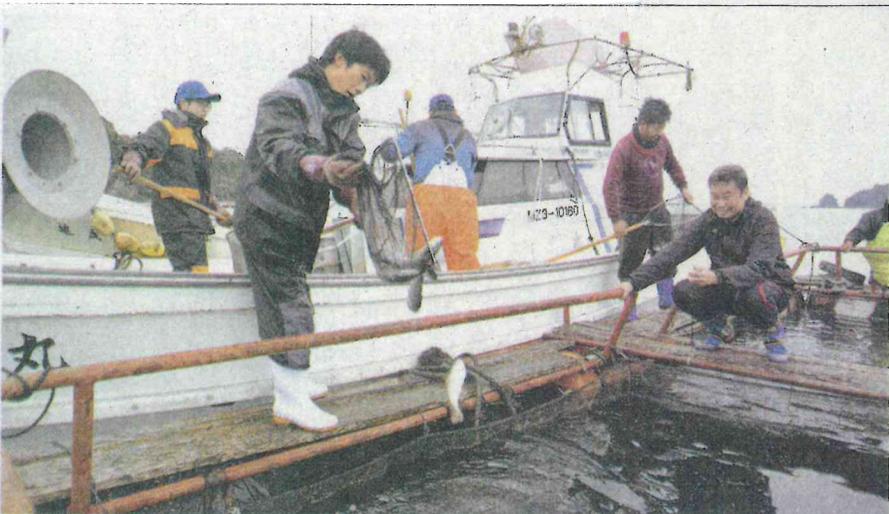
延岡の海でサクラマス育てる取り組みは、同大学農学部の内田勝久教授が12年から養殖技術の

宮崎大学の学生ベンチャー「Smolt（スモルト、上野賢代表）」が

手掛ける養殖魚「サクラマス」の海面養殖が14日から、延岡市の海で始まった。春ごろまで土々呂と北浦の海で合計3200匹を養殖、今シーズンはデータを集める試験的な養殖と位置付け、2

021年春の本格出荷に弾みをつける。

スモルトが手掛けるサクラマスは、五ヶ瀬町の清流で育ったヤマメを延岡の海で巨大化させたもの。14日は平均で190gほどまで育ったヤマメ約1200匹を同大学延岡フィールド（赤水町）の水槽で海水にならした



海面養殖が始まったサクラマス（14日、延岡市の土々呂港）

2020.1.17